

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] BMI 高値の気管支喘息の臨床的特徴に関する調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本 貴道

[研究責任者] 横村 光司 (呼吸器内科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2025年1月20日～2026年3月31日

目的：気管支喘息は気道の慢性炎症を本態とする、変動性を持った気道狭窄による症状を特徴とする疾患であり、有病率の高い呼吸器疾患のうちのひとつです。気管支喘息には多くの表現型 (フェノタイプ) が存在しており、近年では患者個人のフェノタイプに応じた個別化治療が盛んになっています。気管支喘息フェノタイプのうちのひとつである肥満喘息に関して報告は少なく、その臨床的特徴などは十分に研究されていません。本研究では、肥満喘息患者の臨床的特徴を明らかにし、治療、予後予測に役立つ知見を得ることを目的とします。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究です。

■ 対象となる患者さん

2014年3月から2024年7月までの間に当院に気管支喘息で入院した方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、併存疾患)
- ② 血液所見 (WBC、好中球数、好酸球数、総IgE)
- ③ 画像検査所見 (CT画像、単純胸部レントゲン写真)
- ④ 治療 (ステロイド投与期間、抗体製剤の有無、喘息吸入薬の有無、喘息内服薬の有無)
- ⑤ 治療反応性・予後、在院日数、1年以内の増悪回数、1年以内の入院回数

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

呼吸器内科 杉山 裕樹

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971